

真田山 城南寺町周辺 イラストマップ

【うえいくネットおすすめ】

真田山・城南寺町めぐりコース
スタート(玉造)からゴール(大南城南寺町)まで
普通に歩いて1時間半くらいです。

1 浪華仮病院跡(なにわかりびょういんあと)

明治新政府に本格的な医学専門教育学校と病院の建設を命ぜられた大阪府が、大福寺の境内に仮の病院を設立。明治2(1869)年、緒方惟準(緒方洪庵の次男を院長、オランダ人医師ボードウィンを首席教授として診療を開始した。

至心斎橋

三韓坂

1796年刊の撰津名所図会に「この辺りにかつて三韓館があった」と書かれていたこと由来。三韓館は古代に外国の使節を接待し、大陸文化の窓口となった施設といわれる。

空堀ど〜り商店街

空堀地区は戦災を免れ、長屋など古い町並みが残る地域。商店街は上町筋から松屋町筋まで、途中に勾配のきつい坂道が約800m続く。

空堀ど〜り商店街

空堀地区は戦災を免れ、長屋など古い町並みが残る地域。商店街は上町筋から松屋町筋まで、途中に勾配のきつい坂道が約800m続く。

浪華仮病院跡

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

三韓坂

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

浪華仮病院跡

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

三韓坂

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

浪華仮病院跡

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

三韓坂

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

浪華仮病院跡

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

三韓坂

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

浪華仮病院跡

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

三韓坂

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

浪華仮病院跡

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

三韓坂

この辺りは江戸時代初期に寺院を集合させた町域で、現在も古い山門が点在する

2 勝軍地蔵(しょうぐんじぞう)
普福寺の境内にあり、明治42年に日露戦争死者記念仏として開眼された。

3 どんどろ大師(どんどろだいし)
普福寺の本尊として祀られる弘法大師。どんどろは土井殿の訛ったもので、昔、土井氏の邸宅であったことから、どんどろ大師と呼ばれるようになった。近松半二作の浄瑠璃『傾城阿波鳴門(けいせいあわのなると)』の舞台としても有名。

4 まん直し地蔵(まんなおしじぞう)
まんの悪いときに祈願すると効果があるとされている。真田幸村父子の冥福を願って建立された心眼寺にまん直し地蔵がある。門扉には真田家の家紋である六文銭が飾られている。

5 片柱の鳥居(かたばしらのとりの)
三光神社の御門として誇っていた大鳥居が第二次世界大戦の戦火を被り、片柱だけとなった。戦後、この鳥居の復興に際して、悲惨な戦争を二度と繰り返すことのないよう悠々の平和と国家の安泰を祈願して残された。

6 主夜天尊(しゅやてんそん)
成道寺(じょうどうじ)を創建した僧侶袋中(たいちゆう)が伝道に出かけた帰り、海賊に襲われたが、念仏を唱えると雲中に霊像が現れ、海賊は恐れ退散した。そこで、この像を「主夜天尊」として刻み、安置した。現在も盗難除けの神「盗つ人神様」として境内に祀られ、信仰されている。

南惣構え堀跡(みなみそうがえぼりあと)
玉造の交差点から西へ延び、空堀商店街へ続く、大阪城の外堀。1994年、上本町3丁目ビル建設工事の際、この堀と思われる落ち込みが確認されたが、今は見る影もない。1614年、大坂冬の陣で徳川方の手により数日埋められたといわれる。

文学作品のモデルや舞台となった場所

- 梅川・忠兵衛(めくわ・ちゆうべい)
- 梳屋久右衛門と傾城松山(むねやきゆうえもん)
- 玉造稻荷神社(たまづくりなりじんじゃ)



地蔵尊

- 延命地蔵尊
- 子守地蔵尊
- 福徳地蔵尊
- 子守地蔵尊
- 子守地蔵尊
- 子守地蔵尊
- 玉造本町北向地蔵尊
- 日出地蔵尊
- 寿福延命地蔵尊
- 子守地蔵尊

玉造日之出商店街
明治末までは桃畑だったといわれる。昭和3年にすずらんを形どった街灯がつけ商店街として発展したが、昭和20年6月の空襲ですべて焼失。戦後、27年から28年にかけて街灯は再建された。

7 玉造界隈の映画館・演芸場跡
戦前、玉造界隈には、森之宮の砲兵工廠で働く職人たちのために多くの商店や映画館、演芸場が造られた。現在の日之出商店街に沿って、歌舞伎の演芸場を前身とし、後に映画館となった「玉造座」、大正7年に創設された劇場で、昭和15年から玉造東宝と改名した「朝日座」、洋画専門の「ヤマト館」、活動写真館として始まり、吉本興業専属の寄席となった「三光館」があったとされる。

8 産湯稻荷神社(うぶゆいなりじんじゃ)
昔、この付近の有力者である大小橋翁(おおおばせのみこと)が誕生したとき、産湯に用いたという言い伝えがある。今では水は潤れているが、井戸屋形は現存。

6 契沖(けいちゆう)
江戸初期の真言宗の僧侶であり、国学者でもあった人物。古典に精通し、注釈、歴史的な違いの成立に影響を与える見事な業績を残した。

7 志大野城(したのぼり)
江戸時代初期の俳人であり「蕉門十哲」と呼ばれた松尾芭蕉の門下生の一人。後に志大野城の門下生は九州だけで千人を超えたといわれている。

8 木村兼葎堂(きむらけんなんどう)
酒造業の傍ら博物学者、本草家、文人として名を上げ、「浪速の知の巨人」と称された人物。兼葎堂の知識、画や書籍などの収集物を求めて遠方からも文化人が訪れた。

新歌舞伎座
平成22年夏
オープン予定!

うえいくネット 観光 上六
Google 検索
うえいくネット
今すぐクリック! ueroku-wake.net

**上町台地
ゆがりの先人**

1 岡田米山人・岡田半江(べいさんじん・はんこう)
18世紀後半から19世紀の文人画家のリーダー的存在だった父子。父米山人は素朴な中にも気品とユーモアを合わせ持つ画風が評判。半江は柔らかなで緻密なタッチの水墨画を生み出した。

2 秋篠昭足(あきのあきたり)
大塩平八郎の縁者で、大塩の乱に参加。大塩父子の逃亡を手助けしたと言われている。平八郎の生存説を唱えた墓碑が有名。

3 入江昌喜(いりえまさよし)
江戸時代中期に大坂国学の三羽鳥と称された町人学者。文献学的な裏づけのもとに実証する契沖の古典解釈手法に傾倒し、大きな影響を受けた。

4 嵐吉三郎(あらしきちざぶろう)
歌舞伎役者、嵐吉三郎の二代目。江戸時代後期の上り歌舞伎の名優。美男で口跡も良く立役として活躍し、三代目中村歌右衛門と大阪の歌舞伎界の人気を二分した。

5 曾我酒家五郎(そがのやごろう)
歌舞伎役者を経て、喜劇団を旗揚げした。松竹新喜劇の創始者。「笑って泣かせる」スタイルの舞台俳優として人気を得る一方、脚本執筆にも才能を発揮し、千余りの脚本を遺した。

6 曾我酒家五郎(そがのやごろう)
歌舞伎役者を経て、喜劇団を旗揚げした。松竹新喜劇の創始者。「笑って泣かせる」スタイルの舞台俳優として人気を得る一方、脚本執筆にも才能を発揮し、千余りの脚本を遺した。

